

大項目	④コミュニケーション手段の選択と活用
小項目	【 】うまく要求を伝える・選択する
タイトル (教材名)	気持ちカードを使ったコミュニケーション
目的	①他者に対して自分の気持ちを伝えられるツールの1つにする。 ②気持ちのバリエーションを増やす。
教材の概要	・はじめに①の面で何が原因(要因)なのかを選ぶようにし、選んだ後に裏返して②の面でどんな気持ちだったのかを選らんで気持ちを伝えられるようにしている。
材料	・自分がどんな気持ちなのかをイラスト付きで提示できるので、気持ち
作り方	と表情の一致を目指すことができると期待できる。
工夫点など	
画像	 <p>①</p> <p>がっこう いえ でいそーびす</p> <p>てんき べんきょう よてい</p> <p>②</p> <p>どんなさもち?</p> <p>かなしい (がなしかった) うれしい・たのしい (うれしかった) (たのしかった) つかれた (うるさい (うるさかった)</p> <p>しんどい (しんどかった) いや (いやだった) いらいらしている (いらいらした) あそびたい (あそびたかった)</p>
使用方法 (提示の仕方)	①子どもの気持ちが不安になってパニックになった時に、少し落ち着いてから本児に提示して選べるようにし、選んだ気持ちを共有する。 ②指導者が本児に対して何かあった時に「先生はきみに(と)～した(された)から、～な気持ちだよ。」とその時の気持ちを提示する。
その他	